



地球温暖化を止めるために

- 地球温暖化を防ぐには
- ゼロカーボンとは
- カーボンニュートラルの仕組み
 - ・達成条件①
 - ・達成条件②

vol. 2



地球温暖化を防ぐには.....

地球温暖化は、大気中の温室効果ガスによって引き起こされています

温室効果ガスとは、二酸化炭素、メタン、一酸化炭素、ハイドロフルオロカーボン類等

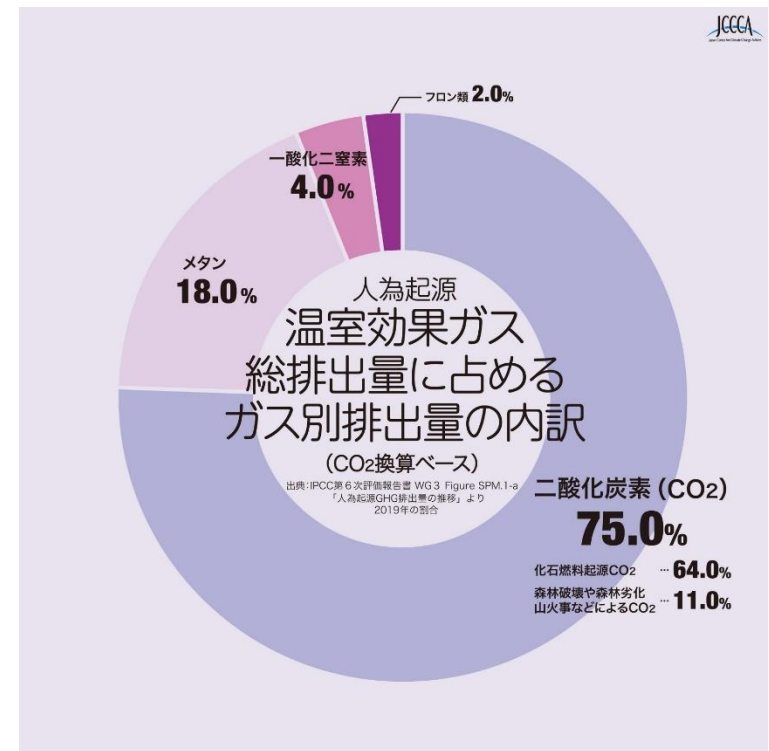
温室効果ガスの人為的な排出で

一番大きな割合を占めるのは**二酸化炭素**です。

つまり...

二酸化炭素 (CO₂) を減らすことが地球温暖化を
防ぐことにつながります。

では、どのようにして二酸化炭素を減らしていく
のか、これが**ゼロカーボン**につながっていきます。





ゼロカーボンとは.....

ゼロカーボンとは、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすること

現段階において、人が生活していくうえで、二酸化炭素の排出を完全にゼロにすることは実質不可能です。

そのため、「**実質ゼロ**」がキーワードとなります。



実質ゼロとは、二酸化炭素の排出量と吸収量を同じにすることを「**カーボンニュートラル**」といいます。

ゼロカーボンシティとは

「2050年までにゼロカーボンを目指す」表明した自治体です。
篠栗町においても、2021年9月8日に「**ゼロカーボンシティ ささぐり**」の宣言を行いました。

「ゼロカーボンシティ ささぐり」宣言

近年の地球温暖化による気候変動は、猛暑や集中豪雨等を招き、私たちの生活に深刻な問題を招いています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命以前と比較して世界の平均気温上昇幅を2度よりリスクの低い1.5度を抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。その後2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では「気温上昇幅を2度より低い1.5度を抑えるためには、2050年までに、二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

篠栗町では、今まで自然と育み、自然を愛し、そして自然と共存してきました。将来において私たちが自然を守るため、そして豊かな生活を送るため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質上ゼロにする「ゼロカーボンシティささぐり」を宣言し、町民や事業所と共に実行することを宣言します。

令和3年9月8日

いつまでも住みたい いつでも訪ねたいまち

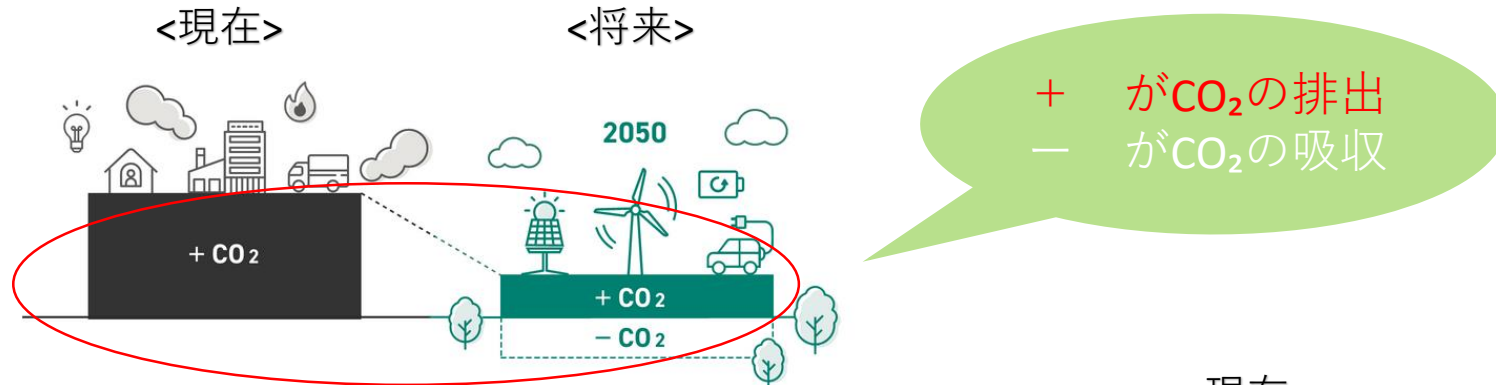
篠栗町長 三浦 正





カーボンニュートラルの仕組み

カーボンニュートラル = 二酸化炭素の排出量と吸収量を同じにする

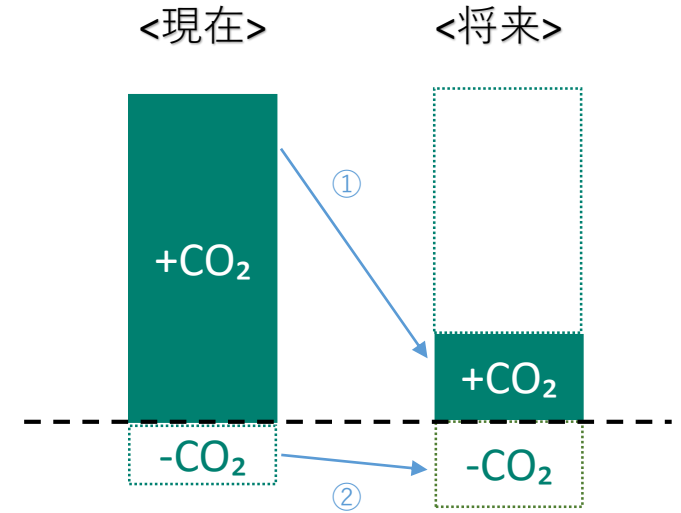


【カーボンニュートラルを達成するために】

条件

取り組み

- ① CO₂排出量を **下げる** ⇒ 省エネ・創エネ等
- ② CO₂吸収量を **上げる** ⇒ 植林・技術革新等

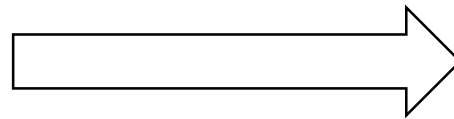
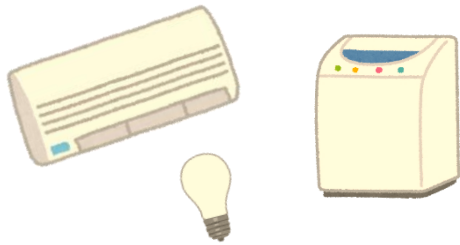




カーボンニュートラルを達成するために

条件① CO₂排出量を下げる ⇒ 省エネ・創エネ等

省エネ

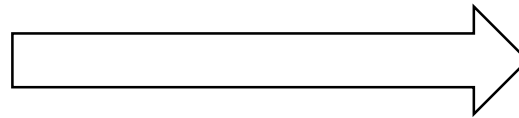


「省エネルギー化」

同じ効果をより少ない
エネルギーで得られる
ようにすること。

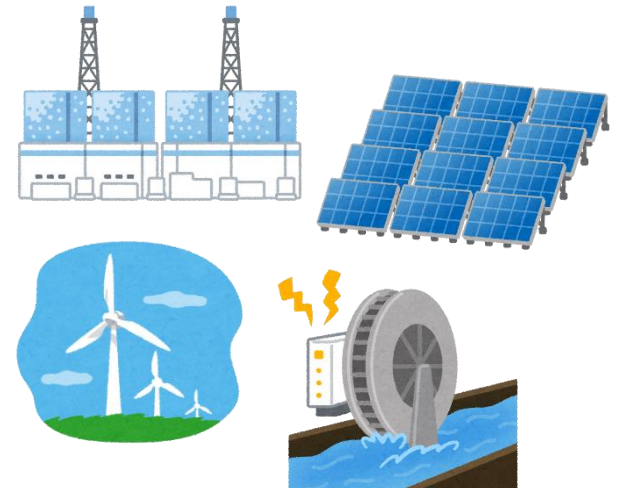


創エネ



「再生可能エネルギーの創出」

電力需給において
CO₂を大量に排出する
火力発電から原子力、
太陽光、風力、水力
発電に切り替えていく。





カーボンニュートラルを達成するために

条件② CO₂吸収量を上げる ⇒ 森林整備・技術革新等

森林整備

植林・植樹



苗木を植え付ける

管理



林道管理や間伐により人の手を入れてCO₂の吸収効率を上げる

伐採



育ちきった木々を木材化し新しい苗木を植えることで森林を適切に更新する

植林・植樹

技術革新

CCS Carbon dioxide Capture and Storage
「二酸化炭素回収・貯留」

CCUS Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
「二酸化炭素回収・利用・貯留」

※技術革新において、これからの発展により別の方法が出る可能性があります。また、CCS・CCUSは実証実験中であり、篠栗町として施策案ではありません。

